

# 須田国太郎の能スケッチ

画家、美術研究者として大正、昭和期に活躍した京都生まれの須田国太郎は、1910年、独学で油彩画を始めた19歳の頃から、能の声楽（詞章）である謡（うたい）を同時に習い始めます。京都を拠点とする能の流派、金剛流の高岡鶴三郎に師事し、以後1957年、66歳までの約50年続けました。

本展では能に魅せられた須田が、鑑能時に手元をほとんど見ることなく何枚も描きとめた「角田川」を始めとする能のスケッチを紹介します。そのほか、スペイン留学時の作品や40歳の初個展で画壇デビューした時の作品、スペインの伝統国技である闘牛に魅せられた作品など須田の油彩画もあわせてお楽しみください。



## Point

須田の能スケッチは丁寧な素描を目的としたものではなく、メモのように素早く、記憶したい演目の特徴的な場面や瞬間をコマ撮りのように捉えています。謡の台詞の場面を記憶したいという須田の勢いが作品から感じられます。現代は記憶したい場面を写真や動画に収める人が多いですが、須田はそれをスケッチブックと鉛筆一本で行っているところが見事です！

(上) 須田国太郎《能(盛久)》1951年 紙・鉛筆 (下) 須田国太郎《能(鶴飼)》1951年 紙・鉛筆

## 芸に魅せられた画家たち

須田国太郎が能に魅せられたように、能や歌舞伎の役者、舞妓など芸を志し、極める姿や動き、衣裳は人を惹きつける美しさがあります。伝統芸能の魅力をそれぞれの視点でとらえた作品を日本画、油彩画、錦絵などさまざまな表現を通して紹介します。

歌川豊国(三代)《弁慶勧進帳》1859年 錦絵



池田栄廣《能衣裳》1990年 紙本彩色

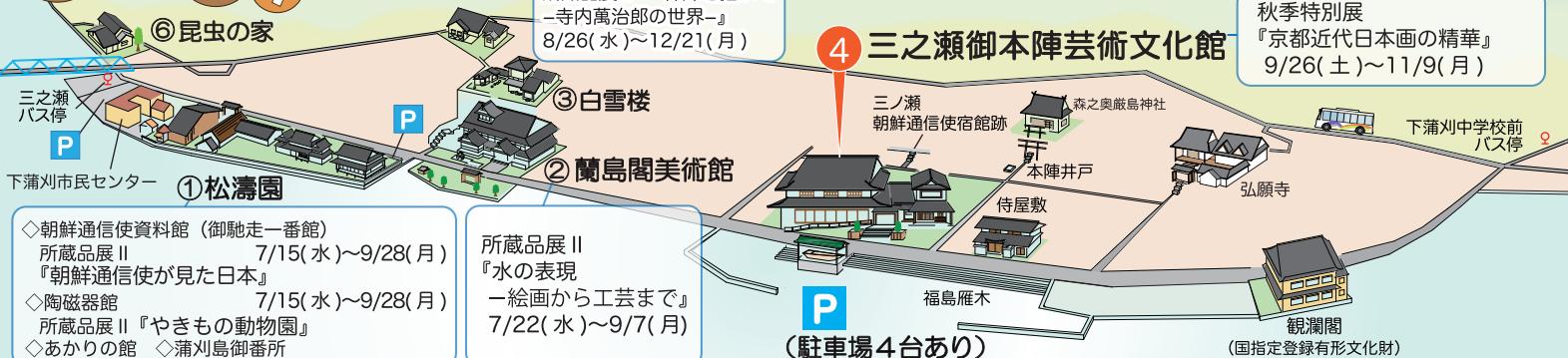


楊洲周延《土蜘蛛》明治時代 錦絵



歌川豊国(三代)歌川広重の双筆《東都高名会席盡》より  
(左) 四代目中村歌右衛門の平清盛 1853年 錦絵  
(右) 三代目岩井条三郎の八百屋お七 1853年 錦絵

## 散策マップ



### 新型コロナウイルス感染拡大防止のお客様へのお願い

- 発熱や軽度でも咳・のどの痛みなどの症状がある場合は、ご来館をお控えください。
- 入館時はマスクの着用をお願いします。
- 入館時の検温にご協力下さい。37度5分以上の方は入館をご遠慮下さい。
- 入館時に手指の消毒をお願いします。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの中止や臨時休館する場合があります。ホームページ等で最新の情報をご確認のうえ、ご来館ください。



### 広島市内から車で約60分

呉市内より国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋（有料）を渡った最初の島が下蒲刈島です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用できます。

指定施設にて1,000円以上ご利用の方に安芸灘大橋の帰りの通行券を進呈！詳しくは、くれ観光情報プラザTEL:0823-23-7845まで

### 広島市内からバス利用の場合

広島バスセンター（6番のりば豊島・沖友天満宮行き）から「見戸代桟橋」下車、接続のバスへ乗り換える「三之瀬」下車。（所要時間約1時間50分）

### 広島市内から電車・バス利用の場合

JR呉線で広駅または仁方駅で下車。駅前バス停から瀬戸内産交運行の豊島・沖友天満宮行きバスに乗車。下蒲刈町内「三之瀬」停留所を下車。バスは上下線とも毎時1本運行しています。

[バスに関するお問い合わせ] 瀬戸内産交株式会社 TEL: 0823-70-7051

さんようバス株式会社 TEL: 0846-65-3531

### 三之瀬御本陣藝術文化館周辺の見どころ！

#### ◇武者窓と腰板



江戸時代の貴重な武者窓と腰板が、当館の外装の一部として保存されています。



江戸初期に福島正則がつくった船着き場。参勤交代の西国大名や朝鮮通信使もここから上陸しました。

三之瀬御本陣藝術文化館  
Instagram&facebook



Instagram

facebook



上記 QR コードよりアクセスできます！